

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 中村 仁

審査委員 増田 幸宏

審査委員 鈴木 俊治

審査委員 袖野 玲子

審査委員 村山 顕人

*審査委員

氏 名	Serge Gerard Noudehouenou Ekpodessi
論文題目	Impact of Insecure Land Tenure on Sustainable Development in Sub-Saharan Africa: A Case Study of Urban and Agricultural Lands in the Republic of Benin
〔論文審査の要旨〕 本論文の目的は、ベナン共和国の都市地域および農村地域を対象とした事例研究をもとに、サブサハラ・アフリカ諸国における土地所有権の保障の不備が持続可能な開発に及ぼす影響を明らかにすることである。研究方法として、土地所有権の不安定さをもたらす要因、ベナンの土地制度に関する文献調査、ベナン南部のノクエ大都市圏（5 都市）およびベナン中部の農村（2 地区）を対象としたフィールド観察調査、インタビュー調査を実施している。調査と分析の結果、土地所有権の不安定さをもたらす 4 つの要因（登記制度の不備、土地収用制度の不備、慣習法との不整合、所有形態の不平等）が、都市部においては劣悪な住宅や居住地をもたらすと同時に適切な改善を阻害していること、また、農村部においては農地の生産性を低下させていることを明らかにしており、土地所有権の保障をもたらすための意識変容や制度改革が持続可能な開発に不可欠であることを示唆している。 なお、本論文に関連して、申請者が筆頭著者として、審査付き国際ジャーナル論文2編（ただし、博士課程在学中の業績は1編）、審査付き国際会議プロシーディングス2編を公刊している。また、国際会議（SEATUC2022）で Best Technical Paper Award を受賞している。 最終審査会は、2023年7月8日の15時から17時にオンライン方式で開催した。公聴会には5名の審査委員のほか、博士課程学生2名が参加した。申請者によるプレゼンテーションの後、研究内容の詳細の確認、今後の研究の展開、問題解決に向けた実務的な課題などについて質疑応答がなされた。 審査の結果、審査委員より、土地所有権の保障に関する文献調査と実態調査によって、土地所有権の保障の不安定さが都市の住宅問題や農地の生産性低下に根源的な影響を及ぼしていることを明確にしている点が高く評価された。また、予備審査で改善が必要であると指摘された諸点についても適切に対応がなされていると評価された。 以上より、審査委員5名全員が合格と判定した。	